

東急不動産 HD 第 22 回無担保社債（グリーンボンド）

2021 年度レポート結果

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典）は、2020 年 1 月 23 日に発行いたしました東急不動産 HD 第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）について、2021 年度のレポートを行いました。

■ 資金充当状況

本グリーンボンドによる調達資金 (発行諸費用の概算額差引後)	充当済金額
9,952 百万円	渋谷ソラストの建設資金にかかるリファイナンス ：8,000 百万円
	ReENE 松前風力発電所の開発資金にかかるリファイナンス ：1,952 百万円

■ 渋谷ソラスト

渋谷ソラストは地上 21 階、地下 1 階、高さ約 107 メートル、賃貸面積約 8,400 坪のオフィスビルです。当社と東急不動産株式会社の本社があった新南平台東急ビルをはじめ、街区内の計 4 棟のビルの跡地エリアを一体的に建替え、2019 年 3 月に竣工しました。

・渋谷ソラストの環境への取り組み

CASBEE（建築環境総合性能評価システム）最高 S ランク

温暖化対策推進条例による「建築物環境性能表示」をもとに建物の環境性能を総合的に検査する評価システムにおいて、環境性能が高いことを示す S ランクが付与されました。



DBJ Green Building 認証 5 つ星（five stars）

日本政策投資銀行が、環境・社会への配慮が優れた不動産を認証する「DBJ Green Building 認証」において、国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビルとして認証されました。



いきもの共生事業所®認証（ABINC 認証）

生物多様性保全に配慮した緑地を進めていることが認められ、「ABINC 認証（いきもの共生事業所認証）」を取得しました。



江戸のみどり登録緑地（在来種植栽登録制度）

東京に自然分布している植物（在来種）の植栽を通して、昆虫や鳥などの動物も含めて、東京の生きものに適した環境を回復させるための取り組みを実施していることから、在来種植栽登録制度「江戸のみどり登録緑地」に登録されています。



・インパクトレポート(2022年3月31日時点)

エネルギー使用量 (GJ) (実績値) 2021年4月~2022年3月 49,515GJ

CO2削減量 (t-CO2) (想定値) 1,402t-CO2

延床面積当たりのCO2削減量 (kg-CO2/m²) (想定値) 29.9kg-CO2/m²

水使用量 (m³) (実績値) 2021年4月~2022年3月 42,544 m³

■ ReENE 松前風力発電所

リエネ松前風力発電所は、東急不動産株式会社を中心となって北海道松前郡松前町において開発を進め、2019年4月3日に運転開始した風力発電所です。

・インパクトレポート(2021年4月~2022年3月)

発電量 (kwh) (想定値) 105,900,000kWh

CO2削減量 (t-CO2) (想定値) 55,386t-CO2

以上